

2 飢餓をゼロに



3 すべての人に健康と福祉を



15 陸の豊かさも守ろう

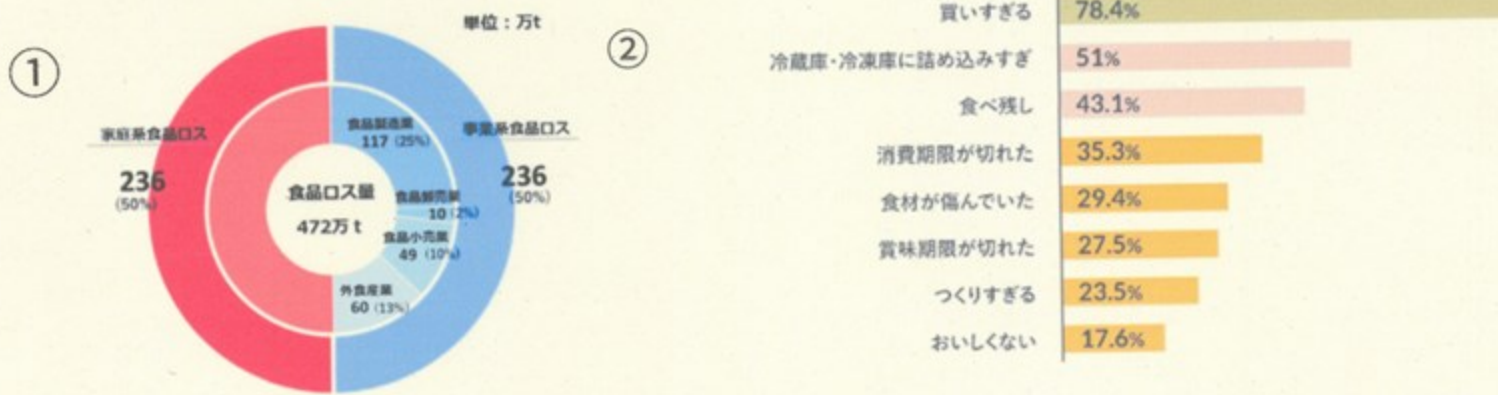




食品ロスを減らそう

出典
農林水産省「食品ロスとは」
環境省「一般廃棄物の排出及び処理状況等（令和2年度）について」
PR TIMES「食品ロスと賞味期限調査」

今、食品ロスが大きな問題となっています。私たちは、食品ロスを減らすために家庭などで意識をすることが大切だと考えます。



<食品ロスを減らした方がいい理由>

食品ロスをなくすと、どのような良いことがあるでしょうか。また、食品ロスが増えるるとどのような被害が及ぶのでしょうか。



食品ロスは環境悪化にも繋がっています。食品ロスが増えると、たくさんのお金を無駄にすることになります。廃棄物を処理するときの方法が環境悪化の原因です。例えば焼却だと大量のCO2が発生し、埋め立てだとメタンガスが発生します。この2つのCO2とメタンガスは環境に悪く、わたしたちにも影響があります。資料1を見て下さい。日本は55%リサイクルしているドイツに対して19%しかしていません。そのため、日本にとって食品ロスは環境の問題でもあります。さらに食品ロスは食品ロスから起こるので、食品ロスも減らさなければなりません。これらのことから食品ロスを減らすと食べ物が無駄にならず、CO2やメタンガスを減らすことができ、飢餓を無くしていくことにも繋がります。なので食品ロスを減らしていきましょう。



【現状】

今は、食品ロスがとても多くなっています。国民一人当たりの食品ロス量は1日約103g、年間約38kgにもなっています。資料①は、日本の食品ロスの事業系食品ロスと家庭内食品ロスの割合を表したものです。日本の全体の食品ロスは522万トン以内、日本の家庭からの食品ロスは247万トンでほぼ半分です。なので、家庭からの食品ロスを減らす必要があります。そして、資料②は食品ロスが起きる理由を書いたグラフです。食品ロスは、私たちの身の回りにもある大きな課題です。食品ロスは、さまざまな理由から起こります。皆さんもよくこのようなことはありませんか？「買いすぎてしまい、捨ててしまった。」「冷蔵庫・冷凍庫に詰め込んでいて忘れてしまった。」このようなことから食品ロスが起きるのです。他にも消費期限、賞味期限が切れていた。美味しくない。作りすぎてしまったなど色々な理由があります。その中でも、買いすぎてしまって捨ててしまったという人が多くいます。家庭での食品ロスを減らす事が地球温暖化を防ぐなどの環境の問題にも繋がるのです。

<食品ロスを減らすために私たちができることは？>

- ・ 買い過ぎないようにしてください。自分の食べれる量を把握し食べ残しをなるべく少なくしましょう。
 - ・ 冷蔵庫をこまめにチェックし賞味期限切れが近づいている食品があったら早めに食べたほうがいいです。
 - ・ 作り過ぎも良くないので食べれるを作りましょう。
 - ・ 買ったものを正しく保存しましょう。手前どりを心がけてください。すぐ食べるものは手前から取ってください。
 - ・ 買うものを決めてから買い物に行ってみたり...
- 今紹介した事以外にも出来る取り組みがたくさんあります。あなたも簡単なことから始めてみませんか？



地球の緑を救うために私達ができること

資料1を見て下さい。これは年代別で森林の面積がどのくらい減っているか表した図です。最近前は前と比べて減る量が減ってきましたが、それでも一分で東京ドーム二つ分減っています。



続いて資料2を見て下さい。これは地球温暖化が原因で絶滅危惧種となっている動物の種類の数を表した図です。2000年はほとんどいませんでしたが、2024年はもう7千種まで達しています。

地球の陸の豊かさが少なすぎるからそれを今から多くしていこう。

以上の方から私たちができることは

- ①紙を無駄遣いしない
- ②ごみを分別する
- ③自然保護活動のボランティアに参加するなど小さなことから始めよう！

木は紙の原料なので紙の使用量をほんの少しだけ減らすだけで伐採される木が少なくなるしボランティアに参加することで地球が少し綺麗になります。

(参考)
「世界森林資源評価2015について」(国際連合食糧農業機関(FAO))
「Publication YearのCR,EN,VUの合計値について」(IUCN/Red List 2024)

